早稲田実業学校校友会

会員　各位

2022年12月2日

早稲田実業学校校友会

会長　池田哲雄

（昭和51年卒業）

所信表明

　皆さん、いかがお過ごしですか。3年前に私が校友会会長として、3期目を迎えるにあって、掲げさせていただいた幾つかの公約も、新型コロナウイルス感染拡大によって、充分な議論が行われないまま足踏みを続けた状態にあります。本当に申し訳なく思います。会員相互の親睦を計るという意味では欠かせない各種イベントの実施も、コロナ禍によって、今年11月12日に開催されたホームカミングデー校友大会以外は残念ながら、ほとんど実行することはできませんでした。昨年8月に、役員と平成年次卒業生をオンラインで繋いだ意見交換会を行わせていただきました。そのときに様々なご意見を若年層の皆さんから頂戴したことは、唯一の光明だったと思います。

しかし、これからは停滞を続けているわけにはいきません。私が掲げた維持費増実現へ向けて、高等部卒業生の皆さんから徴収する「10年会費」に関しても、本格的に議論を活発化させます。現行の維持費は1人3千円となりますから、たとえば10年ですと、3千円×10年＝計3万円となります。現在の高等部卒業生は約430人ですから、430人×3万円＝計1千2百90万円の徴収が可能となります。さらに集められた潤沢な資金をどのように使わせていただくか。早急に準備委員会を設立して、議論を進めなければなりません。現行のクラブ同好会応援募金の不足分を補うとともに現役学生の皆さんを支援する新たな枠組みの構築も視野に入れなければなりません。たとえば現在行われている高等部の生徒の皆さんの企業訪問支援や、海外活動支援募金などに充てることも、可能ではないかと思います。

早実新世紀へ向けて、もう足踏みは許されません。母校の新たな未来へ向けて、もう一度、校友会会長として、任を与えられたことを光栄に思います。全力で取り組みますので、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上